



樟風中学校だより The kusunoki breeze

〒570-0034 守口市西郷通 3-14-60

Tel: 06-6992-7181・Mail: shofu_jhs1@moriguchi-osk.ed.jp

令和7年度《第4号》
(令和7年5月23日)
守口市立樟風中学校
校長 佐藤 裕宣

☆ 5月後半・近づく修学旅行～女子バスケットボール部・北河内大会 4連覇！～ ☆

5月3日、女子バスケットボール部(右)が守口市民体育館で行われた北河内春季体育大会・決勝リーグを全勝して見事に優勝。これで北河内大会4連覇を果たしました。夏の大会が楽しみです。また、3年生の修学旅行が近づいてきました。これまで3つのキャンペーンに取り組み、7日の学年集会(左)も生徒が主体となりいい雰囲気でした。



◎ 5月12日:ランチルーム改革 ～「多め・少なめレーン」・「普通盛りレーン」・「調整エリア」を設けました！～



5月7日から1年生(左)の給食利用が始まったランチルーム。4月に着任した指導栄養教諭の藤田先生の提案でランチルームの“改革”を行いました。具体的には、給食の提供方法を2レーンに分け、従来の配膳カウンターを「多め・少なめレーン」とし、加えて長机を用意して「普通盛りレーン」を設けました。(右)



これにより、並んで待つ時間が短縮されました。また、「調整エリア」(左)にて藤田先生が、生徒のニーズに合わせて副菜(おかず)の量を増やしたり、減らしたりします。日を追って、このエリアに立ち寄る生徒数が増える一方、増やすより減らす生徒が圧倒的に多いことが気になっていましたが、14日の揚げ餃子は大人気でジャンケンをしました。

牛乳が余っていれば欲しい人は追加で飲むこともできますし、主菜(ご飯)だけでなく、汁物の量の調整もしてもらっています。残菜を少しでも減らしたい思いもあって、これまでは配膳員にお盆ごと残菜のある食器を返却していましたが、「食べ残しはこちらに」(右)の鍋に自分で移した後、カラになった食器を返却口に戻します。なお、来年度の2学期より、市内全中学校にて選択制ではなく全員が教室で給食を食べます。



◎ 5月15・16日:中間テスト～「放課後学習」・「勉強CAFE」・土曜日学習「もりスタ」参加者募集中～



真剣度合いが緩かった印象です。学年によっては、学習室(右)を開放して教員が個別に対応する場面もありました。また、地域の学びの場として昨年度も紹介しましたが、南部

1年生にとっては初の定期テスト。お疲れ様でした。テスト前1週間は、原則部活動は休みとなり、その分テスト勉強に専念してくれていると信じています。この間、メディアセンター(図書室)の『放課後学習』(左)

は大盛況でした。ただ、昨年度よりは



エリアコミュニティセンターの1階に『勉強CAFE』が今年もオープンしています。樟風中の生徒も利用していると聞いたので13日に訪れてみると、会議室ではなく交流スペース(左)で自習する生徒がいました。なお、毎年好評の市教育委員会土曜日学習事業・中学生もりもりスタディールーム『もりスタ(毎週土曜日18時～・全38回)』は、すでにご案内しておりますが27日が締め切りとなっています。ぜひ、お申し込みを！

◎ 5月15日:第1回樟風中学校区学校運営協議会(コミュニティ・スクール)開催～今年度は樟風中にて～



保護者及び地域の方々が、さくら小・寺方南小・樟風中の運営に積極的に参画することにより、一層地域に開かれた信頼される学校づくりを実現することを目的とした協議会。会場を昨年度の寺方南小から本校に移し、第1回目を開催しました。(左)さくら・寺方南のコミュニティ協議会の会長やPTA役員、青少年育成指導員校区長、保護司会や主任児童委員、学校支援コーディネーターの代表、そして各校長と17名の委員で組織しています。今回は、3校の学校運営に関する方針の説明や年間計画の確認、そして6月に実施される市の研修会にて取組み発表する内容を協議しました。

◎ 5月18日:第5回同窓会総会～5期生20名が来校・創立10周年記念誌とクリアファイルを贈呈～



毎年5月の第3日曜日の午後、20歳を迎えた学年の卒業生を対象とした同窓会の総会を開催しています。(左)5回目となった今回は、5期生20名余りがランクルームに集まってくれました。この学年の担任だった3名の教員が、当時の思い出等、語る場面もありました。総会後は隣の会議室に場所を移し、ささやかな懇親会を行いました。(右)来ていただいた方には昨年度の創立10周年の記念誌とクリアファイルを贈呈しました。



◎ 5月22日:小中一貫相互参観～中学校区内学校公開&担当者会議～



全学年全クラスを公開し、さくら小・寺方南小の教職員と市教育委員会からも教育センター長をはじめ3名が来校されました。タブレットを活用した授業が多くなってきたことに



加え、授業に動きが増えてきました。(左・右)今年の研究テーマ「自分の学びを自己調整し、深い理解にいたることのできる生徒の育成」、そして教師の目標の一つ「授業観の転換」がすすんでいることを感じるとともに、活発な話し合い活動やタブレットの積極的な活用は、小学校からの貴重な積み重ねだと実感しています。

授業の前後では、1年生が懐かしい先生達と談笑する姿(右)があちこちで見られました。毎年のことですが良き光景です。その後は、小中一貫担当者拡大会議、「児童会・生徒会」や「生徒指導」、「学力向上」等に分かれ、顔合わせを行いました。教務担当と校長・教頭は、「事務局」(左)として、主に年間計画を確認。小中のつながりを大切にしていきます。



◎ さくら小学校から「日本語指導」担当の山脇郁子先生 & 錦中学校から「通級指導」担当の土川敬史先生



今年度、国籍を問わず帰国生徒等、日本語指導が必要な生徒に対して、さくら小の山脇郁子先生(左)が毎週月曜日に指導にあたってもらっています。また、通級指導教室(学習や対人関係を築くことに関して支援が必要な生徒が、その状態を改善・克服し、学校生活をより円滑に過ごすことを目的とする教室)は、錦中の土川敬史先生(右)が週に2日来校され、指導していただいています。

